令和7年6月　災害対策支援
～ 国道399号の土砂崩れに対する支援 ～

令和7年5月29日に国道399号（福島県いわき市小川町）において土砂崩れが発生し、福島県からの要請により、東北技術事務所の遠隔操縦式バックホウ（1.0m3）1台を同年6月に派遣しました。

現地では、東北地方整備局が開催する基礎技術講習会（遠隔操縦式バックホウ操作）において操作講習を受けたオペレーターが操作を担当し、9日間の稼働により土砂撤去が完了しました。

オペレーターからは、実際の現場で遠隔操作するのは初めてだったが、問題なく作業でき、二次災害が想定されるなかで安全面においてリスク軽減が図れたと好評をいただきました。



【 被災箇所位置図 】



【 土砂崩れ状況 】

■被災概況

・土砂崩れの範囲：高さ 約40m × 幅 約40m

・状　　況：コンクリート吹付崩落、落石防止網破損
　　車道閉塞（通行止め区間12km）,電柱破損（NTT固定電話約50回線不通）





【 遠隔操作による作業状況 】

国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所